

新たな価値の社会実装

現代社会において経済価値が重視される傾向が強い中で、持続可能性を支える環境価値や、人間中心の社会価値といった多様な価値への関心が高まっています。さらに、これらの価値を社会実装するには、多くのステークホルダーが関与し、それぞれの異なる価値観や利害が複雑に絡み合う現実があります。本シンポジウムでは、一見すると対立することもある多様な価値をどのように調和させ、経済価値に留まらない「新たな価値の社会実装」を進めていくかを議論します。各社が描くビジョンや、実際の現場で直面する課題を共有しながら、具体的な解決策や実践の方向性を探ります。

日時 **2025.3.19 水** 13:00 – 15:50 (開場12:00)

主催 日立京大ラボ、京都大学、よりよいスマートWEプロジェクトチーム※

場所 現地開催 (京都大学 百周年時計台記念館 百周年記念ホール)・ライブ配信 (Zoomウェビナー)

費用 無料

申込 下記Webサイトよりお申し込みください

<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hqrd/event2/form.jsp>

定員1,000名(現地会場:300名、ウェビナー:700名)に到達次第、締切らせて頂きます。



プログラム

13:00-13:05	開会挨拶	時任 宣博	京都大学 副学長
13:05-13:25	基調講演1 “価値の世紀”の行方—価値多層社会へ向けて	出口康夫	京都大学 文学研究科長・教授 京都哲学研究所 共同代表理事
13:25-13:45	基調講演2 生活者価値デザインによる社会実装への挑戦	岩崎拓	博報堂 常務執行役員 京都大学 成長戦略本部 フェロー
13:50-14:05	講演1 わたしのデジタルツイン「Another Me」	永徳真一郎	NTT デジタルツインコンピューティング研究センタ 主任研究員
14:05-14:20	講演2 総合金融グループとアカデミアで挑む： 社会課題解決への価値創造	木村陽介	京都大学 SMBC 京大スタジオ イノベーションプロデューサ
14:20-14:35	講演3 Society 5.0実現への挑戦 ～日立市共創プロジェクトから日本を元気に～	佐野豊	日立製作所 ひたち協創プロジェクト推進本部 本部長
14:35-14:50	講演4 地域施策と価値の見える化	大輪美沙	日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ 日立京大ラボ 研究員
15:00-15:45	パネルディスカッション：新たな価値の社会実装	水野弘之	[モデレーター] 日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ 日立京大ラボ長
15:45-15:50	閉会挨拶	三輪俊晴	日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ長

※「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」(学術知共創プログラム)

「よりよいスマートWEを目指して：東アジア人文社会知から価値多層社会へ」(研究代表者：出口康夫)

お問い合わせ先：日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ 日立京大ラボ 嶺 竜治 ryuji.mine.np@hitachi.com

基調講演

“価値の世紀”の行方—価値多層社会へ向けて

20世紀が「科学技術と経済の世紀」だったとすれば、21世紀は真の幸福や目指すべき価値が問われる「価値の世紀」である。本講演では、多層的な価値の実現に向けて、新たな哲学・人文学の可能性を探求する。京都哲学研究所の取り組みを通じて、「エンゲージング人文学」の実践と、価値の社会実装への具体策を提案する。



出口康夫

京都大学文学研究科長 教授
京都哲学研究所 共同代表理事

生活者価値デザインによる社会実装への挑戦

社会の構造的変化の中、博報堂は「生活者価値デザイン」を提唱している。生活者の観点から変化をホリスティックに洞察し、社会的価値と経済的価値の両立を志向するものである。博報堂DY京大ラボにおける研究成果と社会実装事例を通じ、その新価値実装の在り方を提示する。



岩崎拓

博報堂 常務執行役員
京都大学 成長戦略本部 フェロー

講演

わたしのデジタルツイン「Another Me」

「わたしのデジタルな分身によって、リアルなわたしの可能性を広げられないか」—そのような「わたしのデジタルツイン」は、わたしが反映された点でわたしであり、一方、生身のわたしと違う点でわたしではない、相反する性質を有する。このような「わたしのデジタルツイン」の検討や技術開発、実証実験について紹介する。

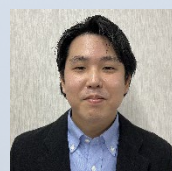


永徳真一郎

NTTデジタルツインコンピューティング研究センタ
主任研究員

総合金融グループとアカデミアで挑む： 社会課題解決への価値創造

SMBCグループと京都大学による「貧困と虐待の連鎖」「発達障害のある方の就労」「おひとりさま高齢者の増加」など、深刻化する社会課題への挑戦、実装したい価値観をご紹介します。また、総合金融グループが、なぜこのような取組をするのか、社会的価値創造に向けた新たな資金の流れについてお話しします。



木村陽介

京都大学 SMBC 京大スタジオ
イノベーションプロデューサ

Society 5.0実現への挑戦 ～日立市共創プロジェクトから日本を元気に～

現在、日立は社会イノベーション事業で積み重ねてきた実績を活かしながら、創業の地 日立市で共創プロジェクトを推進、社会課題を解決し、Society 5.0の実現をめざしています。地域の住民も一緒になって新しい未来社会を創造し、日立市の活性化をモデル化、日本全国をも元気にしていこうという挑戦についてお話しします。



佐野豊

日立製作所 ひたち協創プロジェクト
推進本部 本部長

地域施策と価値のみえる化

地域の持続的発展には、施策の経済価値に加え社会・環境価値も重要とされる。中でも社会価値は客観指標だけでは評価し難く、導入した施策を住民が受け入れられないことがある。そこで日立京大ラボでは人々の主観的価値観に基づいた社会価値の新しい評価手法の研究を進めている。本シンポジウムでは具体的な取り組みを紹介する。



大輪美沙

日立製作所 研究開発グループ
基礎研究センタ 日立京大ラボ 研究員